

## 学校教育自己診断 結果と分析 [令和7年12月実施]

今年度、生徒の自己診断結果肯定率 80%以上の項目が 25 /30 項目。前年比 10%以上増減した項目は「20：私は、本校の校則や決まりをよく守っている。」が 95.1% (R6:86%、110.6%増)のみであった。

生徒の授業に対する評価は「8：授業などで自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。」肯定率 95.0% (R6:91%) や「7：コンピューター等の ICT 機器を授業などで活用されている。」肯定率 94.7% (R6:93%) というように授業の中身に関する数値は上昇しているものの、「9：教え方に工夫をしている先生が多く、授業はわかりやすい。」肯定率 87.7% (R6:88%) の数値は少し減少した。授業の工夫に伴って、わかりやすさも 90%を超える数値になるよう今後も授業改善に向けて全校で取り組んでいく。

「5：高校生活を送るうえでの施設・整備が整っている。」肯定率 79.7% (R6:78%) については、一昨年度の肯定率 71%から少しずつ上昇している。今年度もトイレの様式化や教室の美装化工事、屋上の防水工事などが進んだ。

生徒の「13：私は宿題・予習・復習など、家庭学習の習慣がついている。」肯定率 67.4% (R6:68%)、保護者の「7：子どもには、宿題・予習・復習など、家庭学習の習慣がついている。」肯定率 59.3% (R6:51%) については依然高いものではなかったが、教育産業の学習動画配信サービスの使用を促し生徒が学習意欲を持つことのできるきっかけ作りをしていくことと、日々の学習習慣を身に付けるよう働きかけを継続していく。

教職員の自己診断結果は、13/29 項目で肯定率 80%以上、3 /29 項目が肯定率 50%以下であり、肯定率の低い3項目は「3：教室や廊下などは清掃がいきとどき、授業をするのにふさわしい環境である。」肯定率 43.4% (R6: 32%)、「14：本校生徒の多くは、規則正しい生活を送っている。」肯定率 47.2% (R6: 51%)「15：本校生徒は、校則をよく守り、社会通念上許容される「身だしなみ」で登校している。」肯定率 39.6% (R6: 32%) であった。3 について、教室清掃は毎日行っているが、私物をロッカーに保管し、教室内には放置せず自己管理するなど、授業の受けやすい環境にしていくことを意識していきたい。14.15 については社会に出てから必要になるであろう生活習慣の確立や TPO や着こなし等の「身だしなみ」について教えることで、肯定率の上昇につなげる。また、校則等については、校内で生徒指導の意識を統一し、指導していく。

昨年肯定率の低かった「29：本校では、危機管理体制が明確になっている。」は 10.7%増、「17：いじめ（疑いを含む）が起こった時の体制が整っており、迅速に対応することができている。」は 14.4%増となり改善された。また、今年度7月から Instagram の公式アカウント立ち上げ、生徒の学校生活の様子などを配信して本校の魅力を中学生や保護者、地域等に広く広報することを目標に運用してきた結果、生徒の「28：本校では中学生に必要な情報発信を十分に行っている。」肯定率 93.0% (R6: 90%)、保護者の「22：花園高校は、保護者への連絡や情報提供を積極的に行っている」肯定率 86.8% (R6: 85%)、教職員の「22：本校では、教育活動に必要な情報について、保護者や地域に対して十分な情報を伝えている。」肯定率 86.5% (R6: 75%) とどの数値も改善された。